

# 令和3年度 全日本バレーボール高等学校選手権大会開催に向けてのガイドライン ＜訂正版＞ ( R3.10.1 )

このガイドラインは、昨年度同様、日本バレーボール協会「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン」(R2.5.29 発出) および福岡県高等学校体育連盟「大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン」(R2.6.4 発出)を受けて作成したもので、本大会はその基準に則して開催に向けた準備を行うこととする。

## 1 大会参加チームおよび大会期間

この大会は、以下の通り予選および県大会を行う。

- (1) 予選・県大会参加チームは感染症の流行状況を考慮しつつ、高体連バレーボール専門部の判断で行う。
  - ・現時点では、男女ともに32チームで行う。(中部14 北部8 南部7 筑豊3)
  - ・今後の感染状況では、大会の縮小や日程の調整を再度行うこともある。
- (2) 大会開催期間は以下の通りとする。

予選	R3 10/16 (土) 17 (日) 10/23 (土) の最大3日間で実施
県大会	R3 10/30 (土)、31 (日) 中部ブロック会場を中心に行う。 11/13 (土) 決勝を行う。(福岡市総合体育館)

※ 県大会の抽選は、10月24日(日)に行う。

## 2 試合会場およびコート

- (1) 原則として、1会場につき1コートの設営とする。
- (2) 原則として、カーテンを開けて試合を行う。また、競技中の換気を十分に行う。不可能な場合はセット間や試合間に換気を行う。
- (3) 原則として、冷水機の使用は禁止とする。飲用水は各自で準備すること。
- (4) 会場において、更衣スペースにできるだけゆとりを持たせる工夫(1チームにつき1部屋・一度の入室制限・チームの入れ替え等)をし、更衣室も換気ができるようにすること。また、更衣室の消毒および清掃は使用したチームが責任を持って行う。その際に必要な消毒用アルコール等の準備を各自事前に行っておくこと。会場担当者にはご負担をおかけいたしますがご配慮いただきますようお願いいたします。
- (5) 会場において、許可された場所以外の使用は一切禁止とする。
- (6) 会場において、人数制限等がある場合は指示を守り更衣室やコートの使用をすること。

## 3 大会の参加について

- (1) 大会参加チームは、このガイドラインに則して大会に参加し、感染症対策事項や各会場のルールを遵守し、率先して協力すること。これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場などを求めることがある。
- (2) 保護者から各チームの顧問に、大会参加についての同意書を提出していただくことを義務付ける。同意書の書式は各チーム任意とし顧問が保管すること。
- (3) 競技当日に参加チームは別紙のチェックリストを大会本部に提出し、チームの体調状況を報告すること。  
また、2日目以降も同様に行う。
- (4) チームに新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者が判明した場合の対応については、以下の状況で判断する。

### 個人(選手・チームスタッフ)への対応

＜大会前に濃厚接触者もしくは陽性と診断された場合＞

- ①大会2日前までに解熱(37.5℃以下)しており、PCR検査において陰性が確実に確認されていること。
- ②保健所より参加を認められていること。
- ③学校長からの参加許可を得ること。

※上記3項目をすべて満たすことが出場の条件である。1つでも満たしていなければ

- a. その期間の当該部員および当該チームスタッフの出場は認めない。
- b. エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。

＜大会当日に発熱等の体調不良がみられる場合＞

- a. その日の大会参加は認めない。試合の観戦や応援も認めない。
- b. チーム責任者は保護者に連絡を取り、当該生徒を帰宅させること。また、必要に応じて所属学校の管理職に報告すること。

<大会期間中に感染や濃厚接触が確認された場合>

- ①競技2日前までに解熱(37.5℃以下)しており、PCR検査において陰性が確実に確認されていること。
- ②保健所より参加を認められていること。
- ③学校長からの参加許可を得ること。

※上記3項目をすべて満たすことが出場の条件である。1つでも満たしていなければ

- a. その期間の当該部員および当該チームスタッフの出場は認めない。
- b. エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。

※感染確認または濃厚接触者が発覚したチームは、専門委員長に確実に連絡すること。

専門委員長は保健所に報告し指示をあおぎ、会場校や対戦相手にも情報を共有する。各チーム責任者は所属学校の管理職と協議し対応を決定する。その旨を速やかに専門委員長に報告すること。

<大会後に感染が判明した場合>

- a. 該当チームは各ブロック専門委員長と保健所に確実に連絡すること。
- b. 専門委員長は保健所に報告し指示をあおぎ、会場校や対戦相手にも情報を共有する。各チーム責任者は所属学校の管理職と協議し対応を決定する。その旨を速やかに専門委員長に報告すること。

### チームへの対応

<学校が休校等の感染予防措置をとっている場合>

- ①競技2日前までに解熱(37.5℃以下)しており、PCR検査において陰性が確実に確認されていること。
- ②保健所より参加を認められていること。
- ③学校長からの参加許可を得ること。

※上記3項目をすべて満たすことが出場の条件である。1つでも満たしていなければ

- a. その期間の当該チームの出場は認めない。
- b. 大会への参加について、学校長の承認書を専門委員長へ提出すること。

※学校の状況により各学校長の判断が異なることがあり得ることを、保護者や関係者に事前に周知しておくこと。

<インフルエンザやその他学校保健安全法等に定められた感染症について>

- a. 施行規則に則った出席停止期間を適用し、エントリー選手の変更は従来通りとし特例措置は行わない。

## 4 試合運営について

### (1) 競技会場の設定について

<ブロック予選> 原則として、1会場につき1コートの設営とする。

<県大会>

- ①県大会の初日の会場は、右表の□囲みの8チームで1会場設定を基本とする。(男女4会場 午前・午後で各3試合の予定)
- ②準決勝・決勝に関しては、別途連絡をする。

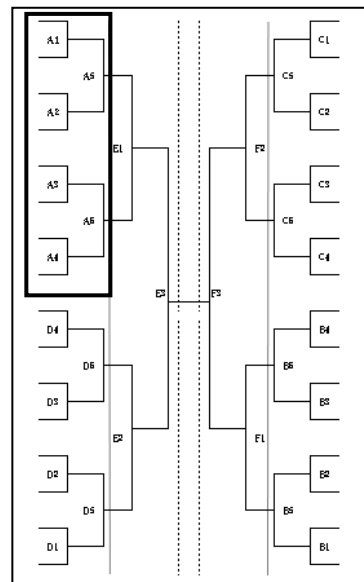
### (2) 試合時間の設定

<全試合共通>

- ①各セット間は3分とし、換気および消毒を十分に行う。
- ②試合間は最低20分以上とり、チームの会場入りの時間を設定する。
- ③アップの時間を含めて最大30分まで設定できることとする。
- ④コートオフィシャル

第1試合目は第2試合目の2チームで協力して行う。以降は、負けチームが行う。ただし、午前と午後に分けて設定時間がある場合は、午後の最初の試合は、次の試合の2チームで行いそれ以降は午前と同様に負けチームで行う。(コートオフィシャルの来場は、必要最小限の人数であれば会場入り時間前の上場を許容する。)

- ⑤試合の時間設定・チームの会場入り時間の設定を行い、設定時間を過ぎた場合は記録終了後20分あける。
- ⑥体育館の空きコートは、アップコート(ネット設営無し)または観戦場所として会場校が設定する。観戦場所として使用する場合は観戦者を優先し、次の試合のチームはストレッチなどの静的ウォームアップまたはランニング等のウォームアップのみとする。ボールを使ったアップは禁止する。



## 5 応援・観戦について

- (1) 応援・観戦は、チームスタッフと部員のみとする。保護者や卒業生、他校の生徒等の観戦や動画の撮影・応援は不可とする。
- (2) 応援方法は拍手のみとし、声援やチームで揃えた応援・鳴物は禁止とする。

## 6 全体注意事項

- (1) マスクの着用を確実に行うこと。
  - ①プレー中の選手以外はマスクの着用を確実に行うこと。
  - ②アップゾーンの選手はマスクを着用すること。
  - ③ベンチスタッフも試合中マスクを着用すること。
  - ④体育館の空きコートでのストレッチや更衣室では、人との接触が大いに想定されるので、マスクを着用する。
  - ⑤コートオフィシャルや観戦者、勝ち上りチームの待機時にも必ずマスクを着用すること。
- (2) チームは、必ず消毒液（アルコール等）を準備し、入場の際に手指消毒の徹底とベンチや更衣室などの使用場所を消毒すること。
- (3) 試合の撮影については、必ず当該校のみとする。試合の該当チーム以外が入ることは禁止とする。（撮影する際は、スタッフ・マネージャー・選手のみで行う。保護者は不可。）
- (4) 設定時間前に補助役員以外の生徒が体育館に入ることを禁止する。
- (5) 会場校や体育館利用の決まりを守り、迷惑が掛からないように利用する。
- (6) 換気の徹底をし、運営責任者や審判・会場責任者の指示に従うこと。